

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		感染症予防事業	担当課	保健センター
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	任意的事務
	基本事業	感染症の予防・拡大防止	市民協働	
予算科目コード	01-040102-17 単独	根拠法令・条例等	新型インフルエンザ等対策特別措置法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 感染症予防及び拡大防止のため 市民向け周知：感染症予防に関する情報をホームページ、広報、ポスター掲示する。 感染予防対策：来庁者向けに庁舎窓口に手指消毒液を設置する。 集団感染拡大予防：感染症予防研修会を実施する。
平成21年度以降新型インフルエンザ流行から感染症予防に対する意識は高まったものの正しい行動をとれていない状況がある。新たな健康危機管理として、感染症対策の取り組みが必要となった。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民が感染症予防の知識を得ることにより、感染の拡大を予防したい。	
（参考）基本事業の目指す姿	
感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
感染症の拡大予防の行動を取ることができるようになるためには、繰り返し学ぶ必要がある。	毎年、感染症に関する専門職による職員向けの研修会を開催する。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
感染症の拡大予防の行動を取ることができる人を組織内に増やす必要がある。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	現状の予算で対応できるため

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
市民および子どもと接する機会がある施設職員に感染症予防研修会を実施できたが、日々、窓口業務等不特定多数の市民に対応する市職員が感染症予防についての知識を学ぶことが必要である。	市職員を対象とした感染症予防研修会を初めて開催した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
予防接種者数（人）	29,091.00	34,709.00	33,136.00	33,136.00	33,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	初めて市職員を対象としたが、参加者から吐物処理等の知識を得て、感染症予防意識の向上を図ることができた。今後も研修会をととして感染予防対策の啓発により意識向上を目指す。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	引き続き感染症予防研修会での教育、周知を行っていく。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	210	242	130	131	131
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	210	242	130	131	131
正職員人工数（時間数）		0.00	60.00	35.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	246	144	0	0
トータルコスト		210	488	274	131	131

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		高齢者予防接種助成事業		担当課	保健センター
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成24年度～
	施策	健康づくりの推進		種別	法定事務
	基本事業	感染症の予防・拡大防止		市民協働	
予算科目コード		01-040102-20 単独	根拠法令・条例等	予防接種法 守谷市法定外予防接種の実施に関する要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
定期予防接種は、感染症の重症化予防、感染症の発生及び蔓延予防を目的に、予防接種法に基づき実施している。また、任意の肺炎球菌予防接種は、定期予防接種年齢以外の者に接種の機会を確保し、肺炎による重症化を防ぐことを目的に費用助成を実施している。	医療機関で接種した接種費用の一部を医療機関窓口もしくは償還払いにて助成する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
65歳以上の高齢者に対し、インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌の予防接種費用の助成を行うことで、インフルエンザの発生及び蔓延予防、肺炎の重症化予防を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
現在、肺炎球菌予防接種に関しては定期接種対象者に個人通知を行っているが、インフルエンザ予防接種に関しては新65歳のみの個人通知、広報、ポスター掲示での周知となっている。自宅以外の市内介護施設等で生活する高齢者も増加しており、予防接種に関する情報を見る機会がない高齢者も多い。	平成30年 4～9月 守谷市民の入所が多い施設の把握 4～8月 近隣市町村のインフルエンザ予防接種事業周知方法を調査、次年度以降の周知方法の検討 8月 平成31年度からの実施方法を決定、予算反映 9月 市内介護施設等へのインフルエンザ予防接種事業について、ポスター掲示、施設職員等へ周知。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
インフルエンザ予防接種事業に関して、市内介護施設等へのポスター掲示、施設職員等への周知徹底。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☒維持 ☐削減	次年度はコストを上げずにインフルエンザ予防接種事業の周知方法を検討していく。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度を取組（評価、課題への対応）
事業の周知により希望者が接種を行える環境の維持が必要。	肺炎球菌予防接種に関しては定期接種対象者に個人通知を実施。インフルエンザ予防接種に関しては新65歳のための個人通知、広報、ポスター掲示での周知を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
インフルエンザ予防接種の接種人数	5,721.00	6,057.00	5,843.00	7,097.00	7,100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	肺炎球菌予防接種対象者には個人通知を実施しており、希望者が接種できる環境が整っているため成果の向上は見込めないが、インフルエンザ予防接種に関しては周知方法に改善の余地がある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	インフルエンザ予防接種事業に関して、市内介護施設等へのポスター掲示、施設職員等への周知徹底等、次年度以降の周知方法を検討していく。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	15,144	16,361	16,262	18,829	18,829
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	18,826	18,826
	一般財源	15,144	16,361	16,262	3	3
正職員人工数（時間数）		0.00	110.00	222.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	451	910	0	0
トータルコスト		15,144	16,812	17,172	18,829	18,829